

患者さんへ

「病院前因子を用いた救急外来における挿管予測スケール」に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合は、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2021年4月から2024年3月31日までに救急外来へ搬送された挿管リスクのある16歳以上の患者さん

2. 研究目的・方法

- ①目的：挿管リスクがある搬送患者における救急外来での気管挿管を予測するため、病院前で容易に得られる因子を用いたモデルの開発・検証を実施します。
- ②研究期間：当院院長承認から2025年3月31日まで

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病院前で得られた意識レベル、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、酸素投与など

5. 外部への情報の提供

データセンターへのデータの提供は、個人を識別することができないように加工した上で特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

湘南鎌倉総合病院 鎌口 清満
東京ベイ・浦安市川医療センター 松本 大賀（研究代表者）

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

鎌口 清満

湘南鎌倉総合病院

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717